旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２２年９月２５日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌497「輝く日を仰ぐ時」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌499「御位を降り」	一　同
教会学校	紙芝居「家に帰ろう」	牧　師
讃　　美	聖歌420「あなたの持てる悩みは」	一　同
聖書朗読	エゼキエル12:1-4	
奨　　励	エゼキエル書の福音(第4回)	牧　師
主　　題	**「神様のラブ・コール」**	
讃　　美	聖歌404「イエスは汝れを」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌378「栄えあれや」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**第二テサロニケ書 3:6-17**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
９/25(日)聖日礼拝
/26(月)
/27(火)
/28(水)
/29(木)
/30(金)
10/１(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「人生は喜劇なり」
（22/09「幸いな人」ささきみつおの一期一会）

「人生はクロースアップで見れば悲劇だが、ロングショットで見れば喜劇である」アメリカの喜劇役者チャールズ・チャップリンの言葉である。チャップリンは本当は悲劇俳優になりたかった。彼の喜劇のベースは多くは悲劇である。本当は悲劇なのに、ピエロのように面白おかしく演じるのである。結局、ある一つの事実や体験を悲劇と見るか喜劇と見るかは、その人の考え方によると言うのである。

「人生すべて塞翁が馬」中国の有名な故事である。これもまた、人生を悲劇と見るか喜劇と見るかは、人の考え方次第であると言っている。悲劇の所で区切れば悲劇だが、喜劇の所で区切れば喜劇である。

しかし本当に、人生の悲劇と喜劇は人の考え方だけで決まるものであろうか？ある人の人生の本当の悲劇と喜劇は、神の視点から判断されるべき事ではないだろうか？聖書は何と言っているのだろう？

「人生はイエスを信じれば喜劇であるが、イエスを信じなければ悲劇である」これは神の言葉による絶対的な真実であって、人の考え方による相対的な評価ではない。イエスを信じれば、病気になろうが、破産しようが、離婚しようが、裁判に敗訴しようが、死刑になろうが、それらはことごとく永遠の命への道程である。イエスを信じる者にとっては、人生とは限りなく絶対的な喜劇である。

けれども、イエスを信じなければ、健康でいようが、裕福でいようが、幸せな家族を持とうが、ノーベル賞を受賞しようが、裁判に勝訴しようが、長寿を楽しもうが、それらはことごとく永遠の滅びへの道程である。イエスを信じない者にとっては、人生は限りなく絶対的な悲劇である。

イエスを信じるのか、それともイエスを信じないのか。これこそが、あなたの人生を悲劇とするか、それとも喜劇とするかの唯一のファクターである。ならば、私たちはイエスを本気で信じることに、もっともっと自分の人生のフォーカスを合わせるべきではないだろうか？

「人はたとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら何の益があるでしょうか。そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか」(マタイ16:26)